

特定非営利活動法人 自然文化誌研究会 会報誌

# 115号

2014 年 3 月 20 日発行号 ←植物と人々の博物館ロゴマーク。

大雪がありました。総会も終わりまして、いよいよ春ですので、今後ともよろしくお願いします!!

## 活動報告

# その 1 のびと講座「小菅村での味噌づくり」 3/8~9(1泊2日)

先週末、毎年恒例の味噌づくりを行いました。米麹 100%で作る味噌ですが、この米麹も手づくりです。はるちゃんの実家にて毎年お米を蒸かして麹を起こしてもらっています(お米も自家製です!)。



土曜日はひたすら大豆を煮る作業!ぐつぐつぐつぐつ・・・火を絶やさないように煮ます。 黒家建築中の一部(端材)を使用。よく燃えます。

宿泊はいつものキャンプ場ですが、まだ全然雪が残っていて、味噌づくりをできる状況ではありません。初心に戻って、味噌づくりを教えてもらった木下稔さん家で開催。

2 日目は盛りだくさん!まずは前日に煮た大豆に火を入れて煮なおします。その間に麹に塩をまぶします。共同作業はなぜかテンションが上がる。。。







煮上がった大豆は臼と杵ですり潰します!ミンチマシーンを使うよりも柔らかく煮る 必要があります。その分美味しい気がします。これに塩をまぶした麹を混ぜて味噌の仕 込みは完了です。

同時進行でおなじみ舩木民宿のあっこさん(守屋アキ子さん)に蕎麦打ちを教わりました。









美味しい小菅のじゃが芋も料理しましたよ。茹でて皮をむいたあと、油で炒めてたっぷりのネギと味噌で味付けしました。藤本さん差し入れの、フキノトウの天ぷら!春ですな~!! 親方(木下稔さん) 特製の、白菜漬けの炒め!うまし! 美味しい食事はシチュエーションが大事だ、と言っていましたがまさにそれ。すごく穏やかで美味しいご飯でした。 そうして今年の味噌づくりは終了しました~。少人数でまったり、とっても濃い内容の週末でした! 京学芸大学のサークルで学内の農園を借りて子ど る き っ か け づ く り を す る 。 もたちと食農体験活動を行っています。INCHのキ ( ) ャンプでも一緒にスタッフとして参加させてもら \* 『知恵のわ』 昔ながらの知恵や文化にふれ、 参加者を募集しています!

どんな活動をしてきたのかという今年度の活動 報告をさせていただくので興味をもった方はぜひ ご連絡ください。

今年度の第9期ちえのわ農学校では

ながら、「種から胃袋まで」の道のりを実践するこ とで、命・自然とのつながりを五感で感じるきっ かけづくりをする。

\*『人のわ』 農学校だからこそできる体験を



こんにちは。私たち「サークルちえのわ」は東通じて子どもたちが仲間とのつながりを感じられ

ったりもしていますよ。ここで、来年度第 10 期の 身近なものを見つめなおすきっかけづくりをする。 以上の3つの"わ"を理念に活動を4月から1月 まで全10回毎月活動を行ってきました。その中で は農園を生かした畑作業やお米作り、工作など 様々な体験を行いました。

例えば主な活動の一つである畑作業では、「種か \*『自然のわ』 自然の様々な表情と向き合い ら胃袋までしの言葉にあるように、種まきから収



穫、そして料理にして食べるまで子どもたちと一 緒にやってきました。虫が多い時期には気持ち悪 がりながらも虫取りをがんに 大根の収穫 に はひたすら雑草とたたかったり……楽しい作業ば かりじゃなかったけど、季節の終わりにはカレーたい」って言って持って帰った子もいたりして野

にしたり鍋にしたり自分の野菜で美味しい料理を 菜を育てる中で子どもたちはみんなキラキラと輝

つくりました。「余った苗を持って帰って家で育ていていました。

田んぼでは、5 月には泥だらけになりながら田植えをして気がつけば泥遊びになって楽しみました。 そうやって植えた稲は 10 月には金色の稲穂になって稲刈りです。刈るときはみんなで鎌を使って刈っ ていきます。危なっかしいかと思いきやそんなことはなく刈るときのみんなの顔は真剣そのもの!たく さんあった稲もすぐに刈り終わってしまいました。刈った稲は昔ながらの機械で脱穀してお昼ごはんに 食べたり、新年にはおもちにして食べたり目一杯味わいました。もちつきはスタッフが搗いていたら、「つ いてみたい!」、「こっち(かえし手)もやってみたい!」いろいろ挑戦しながらみんなで協力して特上 のおもちをしあげました。

他にも、7 月には竹を使って思い思いの工作をして、竹の水鉄砲や竹笛など挑戦していきました。うまくいったり、うまくいかなかったり、いろいろと試行錯誤……作るってなかなか難しいですね。お昼には竹で作ったお椀とお箸で流しそうめん!流れるそうめんをうまくつかめず笑いの絶えないお昼ごはん、と竹と親しんだ一日でした。8 月には農園にテントを張ってお泊りです。生きたヤマメをさばくことに挑戦してみたり、藍を使って叩き染めをしてみたり、夜にはナイトハイクをしてみたり普段は見られない農園も満喫しました。



竹でお椀を作ったよ!



かかしと一緒にみんなで

こんなふうに 1 年間の活動を通して、はじめは緊張して不安そうにしていた子も気がつけばスタッフや他の子と一緒になって遊んで打ち解けていて、子どもたちはスタッフの企画も楽しんでいましたがそれ以上に自分たちで鬼ごっこしようとかハンモックで遊びたいとか池を見に行きたいとか農園での遊びをいろいろと見つけて楽しんでいて、一緒に活動する私達も楽しく過ごせました。最後には「ちえのわでもっと遊びたい」という声も聞けて嬉しい思いでいっぱいになりました。ちえのわを楽しい空間に仕上げるのは子どもだと思うのでスタッフの力だけでなく、子どもと力を合わせて良い物にできたと思っています。そして、自然とのつながり、人とのつながりを大事にして"わ"にするきっかけづくりができたんじゃないかなと思います。 2013年度代表 松本未来(東京学芸大学3回生)

## 第10期ちえのわ農学校参加者募集!

募集対象:小学校3年生~中学校3年生までの男女 募集人数:12名(定員を越えた場合は抽選)

共催:NPO法人「自然文化誌研究会」

場所:東京学芸大学 環境教育研究センター、彩色園 費用:年間17,000円(食費、保険、材料費等)

後援:小金井市教育委員会

主催:東京学芸大学サークル「ちえのわ」 URL: http://www.gakugei-chienowa.org/

○申し込み方法・・・参加希望の旨を「サークルちえのわ」へご連絡ください。

した資料の必着日となって います。ご興味のある方

メールの場合は下記アドレスへ名前と住所を記載して参加希望の旨をご連絡ください。 は、担当まですぐにお問

3/31 が申し込む方の記入

担当:中野 Tel:080-6507-4002 E-mail:gakugei\_chienowa@yahoo.co.jp

合せください。

※その後、こちらから詳しい資料をお送りしますので添付資料にそって申し込みをお願いします。

○2014 年度予定・・・月 1 回の土曜日(全 10 回) 10:00~16:00(日程・内容に変更の可能性があります)

日	4/19	5/17	6/7	7/12	8/23,24	9/13	10/18	11/15	12/13	1/24
程										
内	農園散策、夏	田植え	かかし	すだれ	夏野菜料	冬野菜種	稲刈り、き	脱穀・精米	もちつ	修了式
容	野菜の種ま		作り	• 風鈴作	理、ヤマメ	まき	なこづくり		き、稲わ	
	き			り	さばき				ら工作	
夏野菜の栽培				冬野菜の栽培						

果物の調理・保存 自然を対象にしたあそびなど

※活動内容の中で企画が未定な部分もありますが、子どもたちのやりたいことを聞いていきながら今後決めて いきたいと考えています。また自由時間を設定し、季節ごとの農園散策やおやつ作りなど、子ども一人一人の ふと持った興味を大切にして対応していきたいと考えています。

#### ■ 烘10 同落尚纵人の担生 ■

自然文化誌研究会ではなく、「サークルちえのわ」へ直接、お問合せ、お申し込みください。問い合わせ→資料受け取り→記 入して申し込み→3/31 必着なので、締切が近いです。ご不明な点ありましたら事務局まで!!(連絡がつかないなど)

ますの

で、皆さまのご協力、ご参加の程よろしくお願いします。

第10回通常総会に関しては紙面の都合上、2014年活動予定と2013年決算報告のみ掲載しました。ホームペ ージにて、第 10 回通常総会の資料の閲覧が可能です。ご承知くださいませ。

### 第 10 回通常総会の報告 2014 年度 自然文化誌研究会の活動予定 ぜひご参加ください~!!

月日	分類	事業	場所	備考など
2/15	総会	第9回通常総会	東京学芸大環境教育研究センター	
3/8-9	のびと	味噌づくりとこんにゃくづくり	小菅村	そば打ち、こんにゃくづくりも行います。
3/28-30	冒険	みなかみ雪中キャンプ	群馬県みなかみ町	※中止に決定しました。
4/19	共催	第9期ちえのわ農学校	東京学芸大環境教育研究センター	通年の講座の第1回目
4/29	デイ	野草のてんぷらとお茶つみ	東京学芸大環境教育研究センター	GW のスタッフ会議開催予定
5/3-5	冒険	むらまつりキャンプ	小菅村	
5/4	博物館	植物と人々の博物館 展示開放	多摩源流まつりに合わせて	
5/10	博物館	雑穀栽培講習会	小菅村	
5/31-6/1	ゆるゆる	自然文化誌研究会冒険探検部	小菅村の予定	
		同窓会		
7/27-29	のびと	源流での登山道整備	甲武信小屋周辺	
7/31-8/6	冒険	こすげ冒険学校	小菅村	6 泊 7 日です。

8/9-18	のびと	タイ環境学習キャンプ	タイ王国	
8/9-10	冒険	やまめキャンプ	小菅村	2 つのキャンプで 2 泊 3 日の参加も可能
8/10-11	冒険	いわなキャンプ	小菅村	です。
9/13-15	のびと	(仮)大人も楽しめるキャンプ	小菅村	
10/4-5	のびと	INCH まつり	小菅村	INCH ライブときのこ採り
12 月中	のびと	星空観察会	小菅村	
12/26-28	冒険	まふゆのキャンプ	小菅村	今年は暦上、ド年末に開催します。

2/20	会報	会報ナマステ 115 号発行		500 部
4/10	会報	会報ナマステ 116 号発行		500 部
6/1	会報	会報ナマステ 117 号発行		500 部
10/1	会報	会報ナマステ 118 号発行		500 部
12/10	会報	会報ナマステ 119 号発行		500 部
常時	HP	ホームページ、ブログの更新		中込ミ、黒澤

### ●役員(理事および監事)

代表理事:中込卓男 副代表理事:中込貴芳 副代表理事:横山緑 理事:小川泰彦 理事:田之下雅之 理事:黒澤友彦(兼事務局) 理事:井村礼恵 理事:亀井雄次 理事:木下稔 監事:立川信史 監事:瀬谷勝頼

第 10 回通常総会の報告 2013 年度 自然文化誌研究会の決算報告

## 平成25年度 特定非営利活動にかかる事業会計収支計算書

平成25年1月1日から平成25年12月31日まで

特定非営利活動法人自然文化誌研究会

科目	金 額(単位:円)			
I 収入の部				
1 会費収入				
会費収入		723,000		
2 事業収入				
(1) 野外環境学習事業収入	1,484,100	2,213,919		
(2) 指導者養成事業収入	106,500			
(3) 博物館事業収入	623,319			
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	•			
3 委託事業収入				
		470,855		
4 補助金等収入		,		
助成金収入		970,000		
193 190 mr. 1947 /		0.0,000		
5 寄付金収入				
寄付金収入		523,000		
E1 13 38 30/1		020,000		
6 雑収入				
当期収入合計(A)		4,900,774		
前期繰越収支差額		-1,047,777		
収入合計(B)		1,017,77	3,852,997	
Ⅱ 支出の部			0,002,007	
1 事業費			40	
(1) 野外環境学習事業費	554,292			
(2) 指導者養成事業費	39,440			
(3) 博物館事業支出	49,289			
(0) 内协助于未入国	40,200			
		643,021		
2 一般管理費		040,021		
(1) 職員給与	1,440,000		Try	
(2) 通信費	70,850			
(3) 事務局運営費	35,520			
燃料代	206,469			
電話代	236,926			
事務用品費	28,759			
	20,739			
書籍資料代 印刷·製本費	0			
	202 020			
備品代	292,830			
2 工厂基	624,973	2,311,354		
3 予備費	024,973		-	
4 #BBA=U	004 205	624,973		
4 補助金支出	924,305	924,305		
予備費			4 500 650	
当期支出合計(C)			4,503,653	
当期収支差額(A-C)			397,121	
時期繰越収支差額(B-C)			-650,656	

# ■ *活動案内* ■

## その 1 のびと講座「野草の天ぷらとお茶つみの会」 4.29(日帰り)

毎年恒例の「野草の天ぷらとお茶つみ」のデイキャンプをやります。普段は「葉っぱ」「雑草」として見落としがちな野草でも食べられるものがたくさんあります。野草を摘んで、天ぷらにして食べましょう。また、自分たちでお茶をつみ、蒸して、揉んで、飲みましょう。今年も好例の岩谷美苗さん(樹木医)による「キノコ探し」もメニューに予定しています。フランス料理の高級食材「モリーユ」が見つかるかも?

雨天決行です。友人・知人を誘ってぜひご参加下さい。





日 時:2014年4月29日(祝)9:30~15:00

場 所:東京学芸大学 環境教育実践施設(農場)

対 象:どなたでもご参加ください♪

参加費:中学生以下:300円 高校生以上:500円

- \* 当日参加 OK です。事前申し込みは不要です。
- \*雨天決行です。
- \*昼食は持参でお願いします(テンプラをするのでおにぎりなど。味噌汁は会場で作ります)。
- \* 余裕のある方は 9 時ぐらいに来て準備を手伝ってくださると嬉しいです(^^)
- ←農場で採れたたくさんの野草!この後、天ぷらです。
- ←お茶も朝からみんなで揉みます~。

# <u>その2 冒険学校「むらまつりキャンプ」 5.3~5.5(2泊3日)</u>

新緑がまぶしい、多摩川源流の小菅村で2泊3日のキャンプを行います。清流での川遊び、焚き火、山菜採り、テント泊、 ご飯づくり、五右衛門風呂、お祭りの見学などなど、多くのプログラムを準備しております。

小菅村の「第 27 回多摩源流まつり」も開催されます! 夜は、日本一のお松焼きと、山に響きわたる花火大会も見に行きます! ご家族での参加も可能な、ゆったりとしたキャンプですよ~!!



お祭りを手伝ったりします。

日程:2014年5月3~5日(2泊3日) 場所:小菅村のいつものキャンプ場

対象:子どもだけの場合は小学校3年生~中学校3年生

親子参加の方は幼児・乳児も OK ですよ。

宿 泊:テント泊、ログハウスでの寝袋です。

参加費:食費·宿泊費·保険代·教材費を含みます。 ①会員:子どもひとり ¥17,000 非会員 19,000 円



川遊びもやっちゃいます~。

②会員:親子一組 ¥30,000 非会員 36,000 円 ※これ以上の組み合わせの時は、ご相談いたします。 ※会員になると、今回から会員料金で参加できます。

\*参加希望者は、ハガキ・もしくはE-mailに住所・氏名 (ふりがな)・年齢(学年)・性別・電話番号を記入の上、4月 29日(祝)までに事務局までをお申し込みください。

## **『家を建てるまで』 vol.4** (INCH の楽しい仲間たち vol.5)

大雪にも耐えたので作業を再開しています。雪を見ながら内装を進めてい最近です! (事務局)。



我が家プロジェクト、そろそろ佳境に来ています。ログ組が終わり、屋根が上がり煙突がつきました。床も張り始めています。もう完全に「家」として見られるようになりました。各週末、足元が悪い中来てくれているログチームの皆さんに感謝感謝です!

今までは家を建てることがこんなにも手間が掛か るとは思っていませんでした。自分たちでやってみて 初めて知ることが沢山あります。でも、これは決して 一般的じゃない。普通ならハウスメーカーに依頼して 「建ててもらう」んですよね。そこにはベテランの大工 さんや職人さんがいて、せ一の!で建てるのでしょう。 その仕事っぷりは見事なんだろうな。でも、施主はそ の何%を見られるのか。家を建てていて思ったことは、 見えないところこそ、手間が掛かっているということ。 それを知ってしまった今、我が家が出来上がるのが 楽しみでならないです!きっと携わってくれている人 はどんな形であれ我が家に愛着を持ってくれている。 温泉でご飯を食べていると、足場の外れていない我 が家が見えます。こんなに愛されちゃって、ねぇ?ド カ雪が降ってから約一ヶ月、春はそこまで来てるぞ一。 早くお引越ししたいぞ一。そんな訳で、皆さまいつでも 遊びに来てね!それで、愛おしい我が家を見て行っ てください!! (はるこ)

先週は、天井をほぼ仕上げてもらい、床張りの作業に入りました。床が終わったら、壁を立てていきます。まだ玄関は入っていないけど(材料は届いている)、住む気になったら住めちゃいそうな感じです。希望のとおり、壁で仕切った部屋を設けないようにしています。トイレとお風呂ぐらいかな?仕切りが入るのは。

地鎮祭は行ったのですが、上棟式をしていませんで した。輸入ログハウスなので、「材料が暴れて狂いだし たら大変。(ログを)積むのが最優先」積んだ後は、「何 とか屋根まで張らないと、濡れてしまう」・・・という ことで作業を最優先させてもらいました。

年が明けた1月18日(大安)を予定して、準備を進めました。準備の中で、いろいろな方々に相談していくうちに、餅をまいたりせずに関係者だけで地味にやるべえということになり、関係者の方々と親に来てもらい、途中段階の家の中で行いました。小菅の伝統的な上棟式ではないけれど・・まあよいということで。



<棟梁の若狭さんからご挨拶をいただきました> 大雪の2日後に、家を見に行って潰れていなくて、 ホッとしました。

キャンプ場のログハウスからはじまってもう 5 年以上。自分自身は作業はやモノづくりは苦手で、一緒に やってくれる方々のおかげで家が建つので感謝です。

それなのに、土地を探し、整地、基礎、組み立て、 業者さんとのやり取りなど、全てのことに関わりなが ら家づくりができるなんて、きっとこんなに贅沢なこ とはないんだろうな~、と思っています。(くろさわ)









## 『植物と人々の博物館』 vol.14

### ①「第17回 雑穀栽培講習会」ご案内

古くから栽培されてきたアワ、キビなど雑穀の 在来品種の種まきを実習します。教えてくださる のは地元で伝統的な雑穀栽培をしてきた方々です。 雑穀見本園は、小菅の湯駐車場に隣接する畑です。 由緒ある畑で、昭和60年頃に、アワの献穀を行っ た畑です。舩木民宿のアキ子さんのお父さんの舩 木豊さんが献穀をされた畑です。



雑穀を紹介しながら、種まきをみんなで行います。



●日時 : 2014 年 5 月 10 日 (土)

10:00 ~12:00 (現地集合・解散です)

●会場 :山梨県北都留郡小菅村

植物と人々の博物館および雑穀見本園

●内容:<u>雑穀栽培実技講習</u> 栽培概要の解説 中川智氏、岡部良雄氏(雑穀栽培後術顧問) 雑穀の種播き作業をしながら、畑作に関わる伝統 的な智恵のお話を伺います。

●参加費 : 1,000 円程度の予定

●昼食は小菅の湯で食べましょう。

●締め切り :5月9日までに事務局までご連絡。

### ②源流祭りにおける展示の解説・講座

5月4日は小菅村の「第27回多摩源流まつり」 を開催します。当日、植物と人々の博物館(小菅村中央公民館)では、木俣美樹男先生による、縁 側講座を開催し、展示の解説もしますので、ぜひ ぜひお越しください。

担当:木俣美樹男(植物と人々の博物館研究員)
※当日の博物館スタッフを募集中です~!!

## ③さく葉標本の整備

植物と人々の博物館には、多くの専門書が設置 されています。専門書だけではなく、東京学芸大 学で整備を進めていた「さく葉標本」も小菅村に 来ました。多くの皆さまに利用してもらえるよう に、整備を進めていきます。小菅村教育委員会の 協力もあり、小菅村中央公民館の3階で整備を進 めていきます。



## ④トレイルマップ第3弾の作成

現在取組んでいます。雪のため発行が遅れますが、夏に間に合うようになると良いなぁ・・・という感じです。

## ⑤道の駅への展示

「道の駅こすげ」が秋頃できたら、そこでの展示 についても、小菅村役場と相談しています。「道の 駅こすげ」は小菅の湯のところにできます。

## 『小菅村の動き』 vol.14

ご存知のように、大雪でした。村の方々に聞いたところ、こんなのは初めてだよ、とのこと。小菅村役場前では121cmの積雪となったようです。地区によっては、140cmを超えたところもあるようです。前の週も 70cm 程降ったので、雪掃きしてない場所は、すごかったでしょう。日向はもう春です。日陰になる南側に山を抱える場所は、まだまだ冬の様相です。 (事務局)

#### ①雪の話の続き

金曜日から降り始めた雪はなかなか止まず、土曜日の昼近くになってようやく止みました。家から出れないというのが正しい表現かも。胸ぐらいまで雪があり、まあどこから手を付けて良いのかもイメージが沸かなかったとの事。月曜日頃からニュースでも取り上げられて「孤立」「孤立」「孤立」・・・。幸い、小菅村は停電しませんでした。停電していたら、大丈夫なんだけど、情報入手・発信ができなくなるので、電気が待ち遠しかったと思います。19日水曜日の朝からは、上野原ルートが開通したので、はるちゃんも早々に出勤を開始しました。





災害に強い小菅村を実感しました。食べ物はみんな持ってますし、灯油が無くなっても、家から出なければ何とかなるのでは?今回、停電していてもパニックにならないようにしたいなぁ、と。小菅の場合だと、「良い経験になった」という解釈で良いのかもしれません。やはり停電したところが大変なんだろう~と。

今振り返ると確かに「良い思い出」です。

### ②「小菅村・丹波山村~平成の陣取り合戦」

村創生、境界線を巡る民話から両村の明日を考えるイベントして両村商工会が中心となり、「平成の境界争い」イベントです。10 月の予定でしたが延期となり来る3月30日(日)に開催されることになりました。このイベントは小菅村と丹波山村の村境を生引きで

決めたという民話に基づいて、その民話を再現してみようという企画で、実際にポニーを引いて境界を争います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。 3月30日(日)

午前 8 時 出陣式 小菅村 箭弓神社

丹波山村 熊野神社

8時30分 両村役場出発(ポニー同伴)

10~11 時頃「出会ったところが平成の境界線」

11 時 30 分 交流会

※当日は、黒家造りもやっています。ふらっと小菅に遊びに来ませんか~!!温泉割引券プレゼントします~!!

### ③第 27 回多摩源流まつり

5/4 に開催です。当日は、冒険学校「むらまつりキャンプ」もやっています。山に響く花火は見ものです。 夜なので、帰ってしまう人も多いので、空いてます。 お笑いのナイツと U 字工事も来るようです。

### ④そうか、結局、あんまり総数は変わらないかも。

3年前に6名の「地域おこし協力隊」が小菅村に入り、その任期が終わりますが、半分以上の方が村に残るとのこと。昨年も数名が地域おこし協力隊で小菅に来ました。更に、今年も4月から地域おこし協力隊が小菅村に来るようです。若者でにぎやかになりますね~・・・なんですが、本会もお世話になった、源流きらりの吉沼さん、きのこ採りで案内してもらった上山さんの2家族がこの春、小菅村を出ます。「車貸して」「ネコにエサあげといて~」と頼める人が減ってしまう。親戚がいない他所から来た自分にとってはすごく困る。寂しいという感傷的な気持ちはないけどね~。ま、元気でね~。

結局 19 日水曜日には、はるちゃんを職場へ送り上野原へ、その後青梅で生鮮食品を入手。金曜日には、雪に飽きて、村にある飲み屋さんの「道しるべ」に行きましたわ。

### ○ 今後の活動予定のお知らせ(2014 年春)

4/19 『第9期 ちえのわ農学校①』@東京学芸大学 環境教育研究センター

4/29 のびと講座『野草の天ぷらとお茶つみの会』 @東京学芸大学 環境教育研究センター

5/3~5 冒険学校『むらまつりキャンプ』『植物と人々の博物館 展示・縁側講座』 @小菅村

5/10 雑穀栽培講習会~雑穀の種まき @小菅村

5/31-6/1 『自然文化誌研究会 冒険探検部』の同窓会 @小菅村

※冒険学校『みなかみ雪中キャンプ』につきましては、今年度は中止とさせていただきました。

### 〇 『自然文化誌研究会 冒険探検部』の同窓会について(みやもっちゃん、ヤスさんが担当してます)

5/31-6/1 に小菅村で開催します。5/31 の晩がメイン。会場・宿泊は民宿です。寝袋は用意してあります。眠い人から使ってください。会費は5,000 円予定。料理は持ち寄りで自分達で調理。温泉ありますが夜中は入れません。個室用意してません。個室欲しい人は要相談(料金別)。近くなったら、人数確認、移動手段を確認します。

#### ○ 事務局より

- 『禁煙外来はまあまあです。もらいタバコするけど、自分で持っていないから圧倒的に吸わないです。 「この場所タバコくせ〜」、と思うこともあるけど、全くもってワガママだな、俺。 クロ』
- ●『今の職場に勤めて、4月で3年目に突入です。あっという間だな一。ってことは、キャンプのスタッフだった学生さん達も着々と社会人になってるんだなぁ。たまには生き抜きにキヤンプにも来てね!我が家も出来るので泊まりにきてね!はるこ』

### 〇 事務局の麗しき日々

- 翔くんが新車買ったぞ・・・軽トラだった。えらいなぁ~。
- みなえちゃんが「うたかま」という雑誌にカラーで載ったもよう。
- •木俣先生は学芸大学を引退した後は、小菅村に多く出没するもよう。
- •女子大生に狩猟がブームなもよう。にっしーも狩猟を始めるもよう。
- タケは家を建てたいらしく、はるちゃんに相談しているもよう。
- ひっしーは太って、首のくびれがなくなったもよう。

#### ○ 自然文化誌研究会 一緒に活動しませんか?

略称 INCH (インチ)。冒険・伝承・創造をキーワードに『国際的な視野で人間をとりまく自然と文化を野外において探求する野外環境教育のパイオニア』として、30 年以上にわたって活動を続けています。2004 年から NPO として再出発し、活動の中心を山梨県小菅村に移し、子どもを対象とした『冒険学校』や市民を対象とした『のびと講座』『ELF 環境学習中堅指導者のびと研修会』などの山村の自然や文化を学ぶ活動を通じて、持続可能な社会を形

成していく上で必須である環境学習の実践と農山村の振興 を実現させるため、エコミュージアムづくりを行っています。



ナマステ 115号

本会の運営は会員の皆様のご協力と、会費で成り立っています。ぜひとも会員の輪を広げていき、納入をお願い致します。本会の趣旨に賛同いただける方なら、どなたでも会員になれます。会員には以下8つの種類があります。なお、正会員のみが総会における議決権を持ちます。それ以外の会員は、総会にオブザーバー参加となります。会費は年額(1~12月)です。また、皆様からのご寄付も募っております。

正 会 員:10,000 円 一般会員:5,000 円

学生会員:3,000 円 賛助会員(個人・団体):10,000 円

家族会員(一家族):6,000円 特別維持会員:100,000円

植物と人々の博物館友の会会員:3,000円

小菅村特別会員:1 口 1,000 円から 郵便振替口座: 00100-2-665768

口座名 :特定非営利活動法人自然文化誌研究会

特定非営利活動法人 自然文化誌研究会 会報誌

<発行日>2014年3月20日

<編集>自然文化誌研究会 事務局

<発 行>特定非**営**利活動法人

## 自然文化誌研究会

The Institute of Natural and Cultural History

<事務局>〒409-0211山梨県北都留郡小菅村4115

TEL: 0428-87-0165

携 帯: 090-3334-5328 (黒澤) E-mail: npo-inch@wine.plala.or.jp

H P: http://www2.plala.or.jp/npo-inch/

次回「ナマステ 116 号は 5 月中旬の発行を予定しています。お楽しみに!!